

来年度に向けて



港南小学校 学校だより

3月号

二十四節気・七十二候

< 3月の二十四節気 >

・ 3月5日 啓蟄
冬籠りの虫声を啓く

・ 3月20日 春分
春の最中夜昼平分

< 3月の七十二候 >

・ 啓虫蟄戸
すごもりおしとをひらく

→冬籠りの虫が出てくる

・ 桃始笑
もちはじめてさく

→桃の花が咲き始める

・ 菜虫化蝶
なむしちょうとなる

→青虫が羽化して紋白蝶になる

・ 雀始巢
すずめはじめてすくう

→雀が巢を構え始める

・ 桜始開
さくらはじめてひらく

→桜の花が咲き始める

・ 雷乃発声
かみなりすなわちこえをはつす

→遠くで雷の音がし始める

校長 船木 亮作

令和三年度も残り一か月となりました。オミクロン株が猛威を振るう中、まん延防止等重点措置の発動により三学期に予定していた行事等が中止となるものもありました。子供たちにとって学年のまとめの時期に全員が揃って学習出来ない時期があったことは、大変残念でした。そのような事態にも関わらず、保護者の皆様には、臨機応変にご対応いただき、大変感謝しております。

「港南小学校の顔」として学校をリードしてきた二二五名の六年生も、間もなく本校から巣立っていきます。卒業生はここ二年以上、新型コロナウイルス感染症の中で、様々な制限を強いられました。その中でも最後に何とか移動教室が実施できたことは本当に良かったと思います。この場をお借りして卒業生と保護者の皆様に心からお祝いを申し上げるとともに、子供たちの成長に関わってくださった多くの皆様に厚くお礼申し上げます。

さて、本校でも次年度に向けた準備を進めています。今後コロナ感染症の状況により臨機応変に教育課程を組んでいかなくてはなりません。あらゆる面で急な変更等も生じて来ると思います。ご協力いただければと思います。

来年度に向けてお知らせをいくつかさせていただきます。

① 校舎改築及び仮校舎建設に向けて

来年度から三年生も三十五人学級が適応され、教室が不足してまいります。そこで、第二音楽室を春季休業中に普通教室に改築します。そのため、三、四年生の音楽の学習は、来年度から令和五年度末までは第一理科室で実施します。

② 仮校舎建設について

令和五年度からも毎年学級増となるため、令和四年度の夏季休業中から体育館横に仮校舎を建設します。令和五年度から運用を開始し、図工室・音楽室・理科室等を仮校舎へ移設します。また、令和四年度三月から現在の図工室を普通教室化し、その後家庭科室も普通教室化する予定です。

③ 来年度の重点

① 健康な体づくり
げんきアップタイムやスポーツアカデミー等を充実させ

るとともに引き続き食育にも取り組んでいきます。

② 環境教育の充実

本校では、毎月一回「ふれあいクリーン作戦」を地域・PTAの方々と連携して街の清掃活動を行っています。今年度はシナハロとタイアップして実施したり、五年生が中心となって環境教育を実践したりしてきました。今後も東京海洋大学等と連携し、全校でその意識をもって取り組んでいきます。

③ 来年度の行事について

① 来年度夏季休業から仮校舎建設が始まり校庭の一部が資材置き場等になるため、スポーツフェスタは六月四日(土)に実施する予定です。

② オータムフェスタ(音楽会)の保護者鑑賞日は十月二十二日(土)を予定しています。尚、感染症の状況によっては、内容を変更する場合があります。

(四) その他

① 土曜授業等

年間十一回(月一回)の土曜及び日曜授業日を設定する予定です。

② 学校公開

毎学期一回の学校公開を行う予定です。実施方法につきましては、感染症の状況により人数を制限したり分散して実施したりすることもあります。

③ 心の育成や健康づくりについて(感染状況により変更有)

・ 鼓笛隊、ふれあいコンサート等を実施します。
・ げんきアップタイム、フレンドリータイムの実施
・ 図工作品等の常設展示を行います。
・ キャリア教育の充実(外部講師の招聘を積極的に行います)

④ 始業式

一学期の始業式は分散して実施します。その他の始業式・終業式等は各教室にてオンラインで実施します。現在、お知らせできる内容は以上です。児童数の増加とともに、全校児童が同時に集まって行う教育活動が難しくなっている状況です。今後も、分散して実施する行事等が多くなりま

「いじめ・不登校対策」

いじめや不登校対策をどのように保護者や地域の皆様にご協力をお願いしているか。誌面で伝えるのか。

一年間、自分に問い続けてきました。

いじめや不登校の事例は個人が特定されやすいことがあり、学校の対応や解決についての個別の事例は具体的に取り上げられないのが実情です。そのため学校の取組を大体的にお伝えしてきました。学校では、毎月の生活アンケートやふれあい月間を通して、いじめの早期発見・早期対応に努めています。

また、有識者を交えた「学校評議員会」や「いじめ・不登校対策委員会」は年間計5回実施しています。

そして、何よりも日々の授業や休み時間等で、教員がいじめの芽を摘むよう努めています。

令和三年度も本校の生活指導にご理解、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

(生活指導主幹 小清水 孝)



東京都港区港南4-3-28
TEL 3474-1501・FAX3474-1500

港南小学校HP

4月の主な行事予定

- 5日(火) 新6年生登校日
- 6日(水) 始業式、入学式
- 7日(木) 4時間授業、給食始(2～6年)
- 11日(月) 保護者会(わ、4・5・6年) 14:00～
- 13日(水) 保護者会(1・2・3年) 14:00～
- 18日(月) 委員会活動
- 23日(土) 土曜授業日、引き渡し訓練 11:00～
- 25日(月) クラブ活動

副校長より

学びを止めない

今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響で社会全体が停滞してしまうような活動とならなかったと思います。学校現場では、一人一台タブレットが配布されて、感染者が増加したときには、オンライン授業が展開されました。実際にタブレットの操作や電波環境により思うように活動ができないことがあります。保護者の皆様にも大変ご迷惑

をおかけしました。来年度もICTを活用したオンライン授業と対面授業のハイブリッド授業が行われると思います。港南小学校も社会の変化や環境の変化に対応して、子供たちの学びを止めないよう、活動してまいりますので、来年度も保護者の皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

(副校長 久道 泰司
平 裕子)

3月の行事予定

1日	火	セーフティタイム
2日	水	下校時刻変更・基礎無し【13:15頃下校】
3日	木	児童集会(1・3・5年生)
4日	金	保護者会(わかば、1・2・3・4・5年) げんきアップタイム(2・4・6年)
5日	土	
6日	日	
7日	月	全校放送、校外学習(6年)
8日	火	児童集会(2・4・6年)、委員会 【下校時刻変更】(1～4年生5時間授業)
9日	水	フレンドリータイム
10日	木	校外学習(わかば)、児童集会(1・3・5年)
11日	金	げんきアップタイム(1・3・5年生)
12日	土	
13日	日	
14日	月	クラブ活動
15日	火	社会科見学(5-1,5-5)
16日	水	出前授業(5年生)
17日	木	社会科見学(5-2,5-6)
18日	金	社会科見学(5-3,5-4,わかば)
19日	土	
20日	日	
21日	月	春分の日
22日	火	卒業式予行(6年)
23日	水	給食終、わくわく教室面談終
24日	木	卒業式(8:45～/10:50～)(6年)【5年生以下は休み】
25日	金	修了式、土曜時程4時間授業、清掃なし 下校時刻変更【1～5年12:00頃下校】
26日	土	春季休業日始/クリーン作戦
27日	日	
28日	月	
29日	火	
30日	水	
31日	木	

この他に、避難訓練(予告なし)があります。

	わかば	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数(人)	29	214	215	224	224	232	221	1359

(2月26日時点)

6年生より～卒業に向けて～



「つなぐ 人・思い・学び」 最高学年として行動しよう

四月、最上級生となった子供たちと学年集会を開き、「一年後の卒業式の日までに、どんな学年にしていきたいか」「そのためにどのような心を育てていくべきか」について考えました。子供たちの意見をもとに、学年目標が決まりました。

「つなぐ 人・思い・学び」です。コロナの感染拡大に伴い、引き続き大変な状況下からのスタートでした。その中でも、学習面、生活面、対人面など様々な視点から自分を見つめ直す経験を経て、感謝の気持ちをもって前へ進んでいってほしい、そんな思いが言葉になりました。「つなぐ」をキーワードに様々な場面で目標を設定して振り返りを行ってきました。

まず意識したのは「思いをつなぐ」です。友達の思いや考えに共感したり、よりよいものにしようという意見を伝えたりすることを意識して行動しました。

スポーツフェスタでは、決められた動きだけでなく、友達と意見を重ねて、自分たちで考えた動きも表現しました。練習後の振り返りでは、できたこと、次に意識したいことを中心に書く子が多く、切磋琢磨しながら互いに高め合っていました。本番では今までで一番の演技で大きな達成感を味わいました。

「学びをつなぐ」では、日々の学習や行事ごとのつながりを意識してきました。7月に行った東京グローバルゲートウェイでは、小グループに分かれ、オリジナルグリッシュの環境で積極的に外国人とコミュニケーションを図りました。始めは緊張していた子供たちも次第に慣れかして必死にミッションに挑戦しました。学習を通して、楽しく英語と触れ合うことができた。ウインターフェスタでは、久しぶりの楽器演奏でしたが、練習を積み重ねた成果として合奏「アフリカンシンフォニー」「ラバースコンチェルト」を堂々と演奏しました。アンコールでは手拍子をもらい大満足のウインターフェスタとなりました。

した。

初めての宿泊行事となった移動教室では、「自立・協力・感謝」を意識して過ごしました。5分前行動を意識したり、友達と声を掛け合ったり協力したり、宿舎の方にあいさつで感謝を伝えたりと、充実の二日間となりました。

「人をつなぐ」では、友達、家族、地域の方々とのつながりを大事にして、感謝の気持ちをもちことを意識してきました。感謝の会では、六年間を振り返り、どのように生活し、どのように成長してきたのかを保護者やお世話になった先生方、地域の方々へ伝えられるよう、練習に取り組みしました。

いよいよ小学校生活六年間の集大成です。コロナ禍で普段の学習が制限される中でも、子供たちは前を向いて、様々な学習や行事に意欲的に取り組んできました。卒業式では、卒業証書を受け取る立派な姿から、子供たちの成長を感じていただければと思います。

最後になりましたが、六年生の学習、行事など様々な場面でご理解、ご協力をいただいた全ての方にこの場を借りて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

(六年一組担任 大久保 勝国)

六年生を送る会

二月二十二日(火)に、六年生を送る会が行われました。体育館内の装飾は、わかば学級と一・二・四年生が担当しました。お花紙で作られた「卒業おめでとう」の字や大きな桜の木の壁面装飾、ステージに飾られた「六年生を送る会」の字は、どれも素敵でした。また、体育館入り口には五年生が作成した「六年生新聞」が飾られました。三年生からはメダルのプレゼントをもらい、嬉しそうに付けている六年生の姿が印象的でした。

送る会当日は、各学年が六年生に贈る出し物を用意してくれました。行事の運営や委員会活動、フレンドリータイムなど、様々な場面で活躍した六年生。お世話になった六年生に感謝の気持ちを伝えるために、それぞれ工夫された出し物ばかりでした。各学年の出し物を紹介します。一年生は「ゆめのたね」の歌に合わせ、それぞれが描いた「ゆめのはな」の絵を披露しました。二年生は、BTSの「Dynamite」に合わせて、六年生への感謝の気持ちを振り付けにして踊りました。わかば学級は息の合った太鼓の演奏、三年生は緑黄色社会の「Meia!」に合わせてボディパーカッションを披露しました。四・五年生は、港南小の伝統になっている鼓笛隊を引き継ぎ、「聖者の行進」「史上最大の作戦」を演奏しました。六年生が安心して鼓笛隊を任せられると思うよう、音だけではなく鼓笛隊としての姿勢を心掛けていました。感染症対策をとりながら、六年生の卒業を祝う素敵な会となりました。

(六年二組担任 檜垣 史)

卒業・進級を祝う会

わかば卒業・進級を祝う会

二月十九日（土）に、体育館で『卒業・進級を祝う会』を行いました。子供たちは、二週間かけて準備をしてきました。家族にあてて招待状を書いたり、会場を飾る作品を作ったり、卒業生は自分の似顔絵を描いたりしました。

一年生から五年生は、一年間の行事や学習の中で自分が頑張ったことや楽しかったことを思い出して作文し、大勢のお客さんの前でスピーチをしました。

六年生は港南小学校での生活を振り返り、長い作文を立派に読み上げました。卒業のほなむけに保護者の方からは卒業生の小さいときの写真を背景に幼い頃からの思い出や心に残るお話をいただきました。

和太鼓の演奏では、わかば学級の伝統になっている『わかば祭り太鼓』や、『はねこ』の発表をしました。一人一人、声を出しながら楽しそうに演奏する姿に心を打たれました。

今年度、合奏は残念ながら映像での発表をしました。2学期から練習していた「コナンメインテーマ」の合奏映像を流し、会場を盛り上げました。

また、今年度は一年振りに合唱を行いました。曲は『変わらないもの』でした。

「君と出会った 幸せを かみしめながら歩いていこう 一年先も十年先も変わらない思い」

歌詞にもある通り、友達や家族への思いを巡らせながら一人ひとりが気持ちを込めて歌いました。

最後には、六年生がたくさん遊んだ下級生にお礼や励ましの言葉を伝えました。

今年度も、コロナ禍で卒業生や地域の方の参観が難しく人数を制限しながらも、場面ごとにたくさんの拍手をもらい、一年間の成長を自分自身が感じる貴重な時間となったと感じました。

（わかば学級担任 中山 功二）



読書クラブ

クラブ紹介

演劇クラブ

演劇クラブは、六年生六人、五年生十三人、四年生一人の計二十人で活動しています。毎回、こうなんホールに集まると、発声練習から始めています。お腹から声を出せるようになるためです。

そして、より主体的に活動ができるように、今年度は六年生、五年生がそれぞれ脚本作りから始めました。タブレットを活用し、台本を共有して、修正や加筆をしながら、進めました。実際に演技をしてみると、「ここはこうしようか」などの意見も出て、試行錯誤しながら作り上げてきました。練習時間が思うように取れず、苦勞しましたが協力して進めることができました。

今後も子供たちが主体的に取り組めるよう、指導していきます。

（演劇クラブ担当 鷹宮 みのり）

読書クラブは六年生八人、五年生九人、四年生十人の計二十七人で活動しています。自分の読みたい本を家から持ってきたり、学校図書館で探したりして、黙々と自分のペースで読書を進めています。読書だけでなく子供たちがやりたいことを考えて、六年生が中心となり活動内容を決めてきました。読書や言葉に纏わるゲームでは、四年生が発案した言葉集めのゲームは盛り上がりを見せていました。

前期には図書室にお勧めの本紹介の掲示を作成しました。後期は動画で自分の好きな本を伝えようと考えております。

引き続き、子供が読書を楽しめる活動や本や言葉に親しむ遊びをし、読書が好きな子供たちを育てて参ります。

（読書クラブ担当 中原 真）